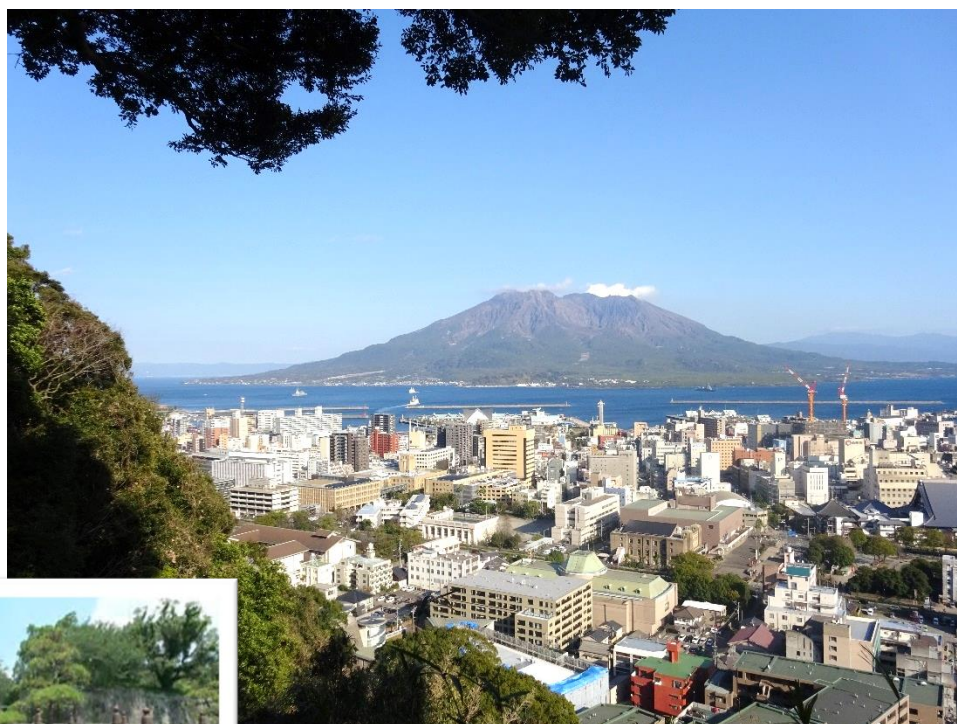


歴史を継ぎ、街なかに残る「つながり」を
守り育てる名山

第Ⅰ期（2019年度～2023年度）
コミュニティプラン
【校区振興計画】



名山校区コミュニティ協議会

所在地 : 鹿児島市山下町6番43号 (名山校区公民館内)
TEL/FAX : 099-295-3013
E-MAIL : meizan.comm@po5.synapse.ne.jp

目 次

1	コミュニティプラン策定にあたって	1
2	ふるさと名山について		
(1)	校区の位置	2
(2)	校区の歴史の概要	3
(3)	主な施設・史跡等	4
(4)	写真で見る名山校区	5
(5)	校区の特徴	8
3	第I期コミュニティプラン		
(1)	コミュニティ協議会の組織	9
(2)	コミュニティ協議会の運営方針	9
(3)	校区の現状と課題（部会別）	10
(4)	第I期目標	11
(5)	事業推進の体系図	12
(6)	各部会別事業内容		
ア	まちづくり推進部会	13
イ	文化部会	14
ウ	保健体育部会	15
エ	青少年育成部会	16
オ	福祉安全部会	17
4	資料		
(1)	コミュニティプラン策定委員会委員	18
(2)	会議の経過概要	18
(3)	校区住民の意識調査結果	19
(4)	統計資料	23

1 コミュニティプラン策定にあたって



名山校区コミュニティ協議会
会 長 米 盛 孝 一

私たち名山校区は、地域の絆をさらに強め、「共助」の力を発揮することのできる地域づくりのために、平成29年3月「名山校区コミュニティ協議会」を発足しました。

以降、これまでの地域活動を継承しながら、スローガン「歴史を継ぎ、街なかに残る『つながり』を守り育てる名山」の実現に向けて、コミュニティプラン策定委員会を中心に、地域住民アンケートを実施し様々な協議を重ねてまいりましたが、このたび校区振興計画「第Ⅰ期名山校区コミュニティプラン」がまとまりました。

今後は、このプランをもとに実践と評価を繰り返しながら、皆さんと一緒に良いまちづくりを目指していくものです。名山小学校校歌「朝日たださす城山の 深きゆかりを背において」の如く、名山校区がますます活気あふれる住みよい街となることを信じております。

策定に際しましては、関係機関のご指導と、コミュニティ構成団体をはじめとする地域の皆様のご理解・ご協力を頂きましたことに、深く感謝申し上げます。



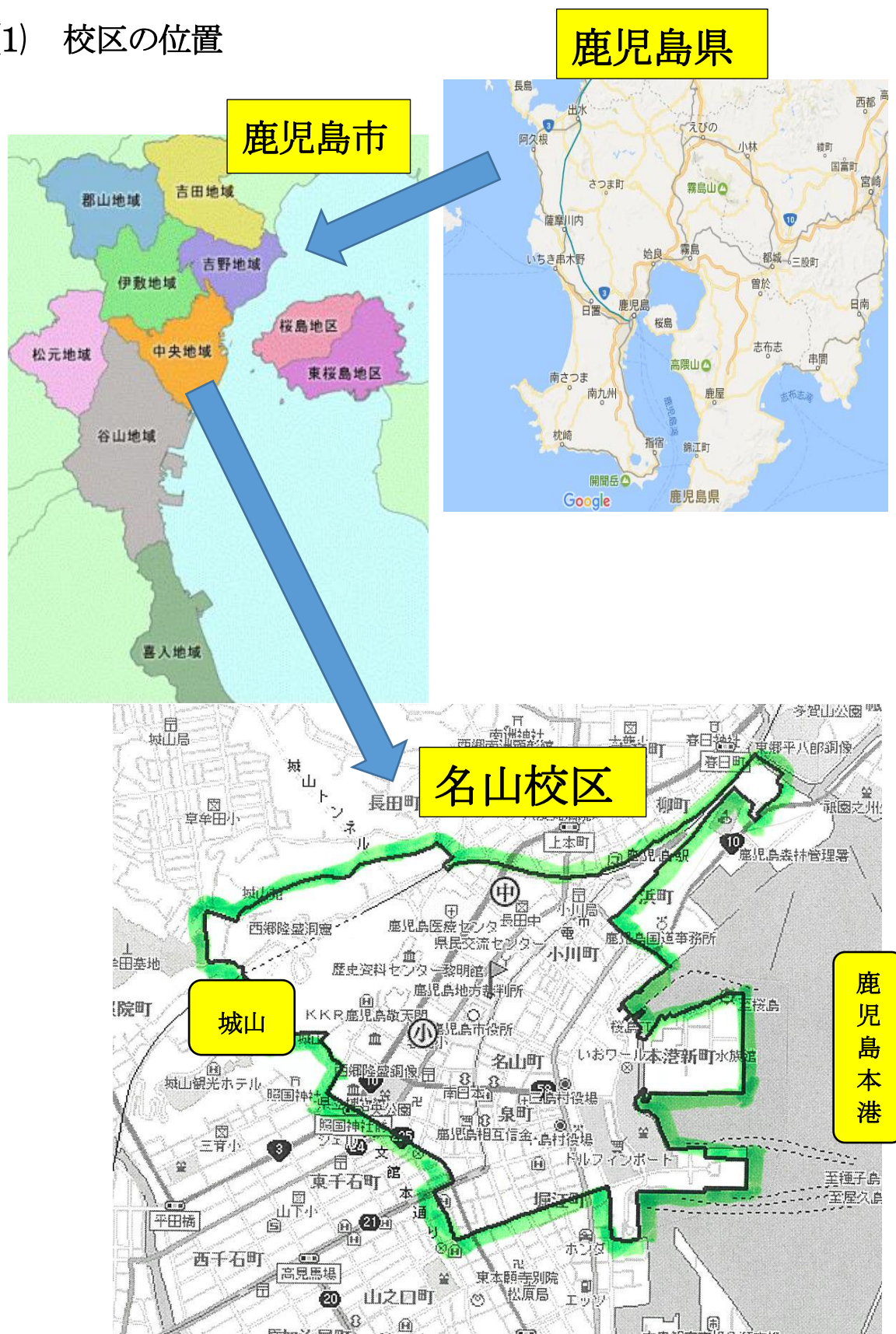
名山小学校

コミュニティ協議会事務局
名山校区公民館内



2 ふるさと名山について

(1) 校区の位置



(2) 校区の歴史の概要

現在でも名山小学校の近くには堀が残されているが、島津城下の堀には桜島の影が映り、名勝の地であった。この堀は、名山堀と名づけられた。旧名山校はその名山堀のほりにあったので名山小学校とよばれるようになった。(天明5年 久保之英著「見聞秘記」に拠る。)

名山堀の名前の由来は、桜島が堀に映りすばらしい眺めであったからと言われる。易居町一帯は安永年間(1772~80年)の埋め立てと言われ、御厩【(おうまや) = (現在の鹿児島医療センター)】まで続いていた堀には多くの帆船が来航していたという。現在は市役所前から海岸(鹿児島本港)までの「みなと大通り公園」となっている。

山下町は、江戸時代は多くの武士のための屋敷が広がっていた。明治時代になると、鹿児島県庁の所在地となり、県の行政の中心地となった。1879年(明治12年)には郡区町村編制法が施行され、山下町として成立している。1889年(明治22年)に市制が施行されたのに伴い、47町3村の区域から鹿児島市が設置され、それまでの山下町は鹿児島市の町名「山下町」となった。1892年(明治25年)に現在の鹿児島市立美術館の位置に鹿児島市役所が山之口馬場町から移転し、県の中心としての役割の他に鹿児島市の中心としての役割も持つようになった。その後、市役所は1937年(昭和12年)に現在地に移転した。1965年(昭和40年)には町域の一部が城山町、名山町、照国町に分割され、同時に山下町の全域で住居表示が実施されている。1996年(平成8年)には町域内に明治時代から所在していた鹿児島県庁が鴨池新町に移転し、2003年(平成15年)には県庁舎跡地にかごしま県民交流センターが設置された。

金生町は、町域内に山形屋があり、これを中心に天文館と呼ばれる商店街が展開されている。また中央部を鹿児島市電が南北に通っており、町域内にはいづろ通電停及び朝日通電停がある。江戸時代は鹿児島城下町のうちであり、木屋町と称していたが、1829年(文政12年)に金生町(当時は「かなふまち」と称されていた)に改称している。1889年(明治22年)には市制が施行されたのに伴い、それまでの金生町は町名「金生町」となり、1965年(昭和40年)7月には金生町の全域で住居表示が実施された。1751年(宝暦元年)にこの地に現在の山形屋の前身となる鹿児島城下唯一の呉服商が開業したとされており、明治中期ごろになると呉服商からデパートとなった。神戸以西においては初のデパートであった。また、1879年(明治12年)には現在の鹿児島銀行の前身となる第百四十七国立銀行が設置されるなど、鹿児島市の経済の中心地となっている。



【明治20年(1887年)頃の名山堀】



【大正13年(1923年)頃の名山堀】

(3) 主な施設・史跡等

名山校区は鹿児島市のほぼ中心に位置しており、名山小学校の周辺には、鹿児島市役所や鹿児島市教育総合センター、鹿児島地方裁判所、鹿児島地方法務合同庁舎などの官公庁が多い。

東には雄大な桜島を望み、かごしま水族館や北埠頭がある。

西には自然豊かな城山があり、その近くには国道10号線が通っている。10号線沿いには鹿児島県歴史資料センター黎明館や県立図書館、鹿児島市立美術館、県立博物館などの文化施設がある。

南には鹿児島市一番の繁華街天文館に隣接したデパートや数多くの商店、銀行などがある。

北には薩摩義士碑や私学校跡等の歴史的遺跡がある。名山校区は歴史と文化の薫るまちであるといえる。

主な史跡等

- 鶴丸城跡
- 西郷隆盛銅像
- 私学校跡
- 西郷隆盛洞窟
- 西郷隆盛終焉の地
- 西南戦争官軍本営跡
- 薩摩義士碑
- 篤姫像
- 五代友厚銅像
- 小松帯刀銅像
- 加納久宜銅像
- 丹下梅子銅像
- 造士館・演武館・医学館跡
- 開成所跡
- 名山堀跡
- 県里程元標
- 月照上人遺跡の碑
- 俊寛の碑
- 新波止砲台跡

文教施設

- 名山小学校
- 長田中学校

主な公共機関

- 鹿児島市役所
- 鹿児島地方裁判所
- 鹿児島地方検察庁
- 鹿児島合同庁舎
- 鹿児島港湾合同庁舎
- 湾岸交番
- 鹿児島医療センター
- 県民交流センター
- 三島村役場
- 十島村役場

文化施設・社会教育施設

- 県立博物館・考古資料館
- 歴史資料センター黎明館
- 市立美術館
- 県立図書館
- 近代文学館・メルヘン館
- 宝山ホール
- かごしま水族館
- 中央公民館

交通関係

- 鹿児島本港
- 桜島フェリーターミナル
- JR鹿児島駅
- 鹿児島市電

報道機関

- NHK鹿児島放送局

- 西本願寺鹿児島別院
- 鹿児島東郵便局
- 鹿児島県弁護士会館

公園・広場等

- 城山公園
- 中央公園
- 泉公園
- みなと大通り公園
- 小川公園
- 鹿児島港芝生広場
- 歴史と文化の道
- かんまちあ

町内会

- 易居町町内会
- 名山町東町内会
- 名山町西町内会
- 城山町敬天区町内会
- 城山町二之丸町内会
- 堀江町町内会
- 大黒町町内会
- 呉服町町内会
- 中町町内会
- 金生町町内会
- 住吉町町内会
- 泉町町内会
- 小川・浜町町内会
- アーバンポート21自治会

(4) 写真で見る名山校区

(No.1)



名山小学校



鹿児島市役所



長田中学校



鹿児島地方裁判所



県民交流センター



県立博物館 ・ 考古資料館



県立図書館



鶴丸城跡（御楼門再建中）



歴史センター黎明館



近代文学館・メルヘン館



市立美術館



中央公民館



西郷隆盛銅像



小松帯刀銅像



五代友厚銅像



丹下梅子銅像



城山遊歩道



薩摩義士碑



西郷隆盛終焉の地



歴史と文化の道



鹿児島医療センター
(私学校跡)



鹿児島市消防局・
福祉プラザ



NHK 鹿児島放送局



鹿児島東郵便局



湾岸交番

(No. 3)



桜島フェリーターミナル



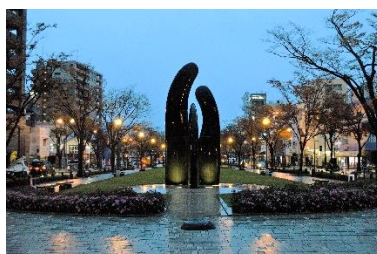
鹿児島本港



JR 鹿児島駅 (建設中)・市電乗り場



中央公園



みなと大通り公園



かんまちあ



鹿児島港芝生広場



かごしま水族館



いづろ通から金生町・市電を望む



いづろ灯籠



納屋通り商店街



名山堀飲食店街

(5) 校区の特徴

人

街なかであるが、人のつながりがある。
マンションなどの共同住宅が増えて住民同士の交流やふれあいがさらに必要となっている。

歴史・文化・伝統

藩政時代からの鹿児島を中心としての伝統が引き継がれてきている。数多くの史跡や歴史を伝える建造物がある。

交通

中心市街地であり、交通量が多い。通勤や買物等による人の交流が多い。

行事

町内会を中心に様々な伝統的行事に取り組んでいる。

暮らし

一人暮らし高齢世帯、高齢者夫婦世帯など、高齢者のみの世帯が増加している。

安心・安全・防犯・防災

防犯パトロール等、見守り活動が円滑に実施され、治安は良いという意見が多い。

公共施設

鹿児島の政治・経済の中心として多くの公共機関が集中している。

自然

城山を背景に、桜島・鹿児島湾を望む風光明媚な校区である。
公園や街路樹の整備も進んでいる。

社会教育・社会体育

校区運動会や球技大会などに継続して取り組んでいる。

商店街

鹿児島随一の商店街に隣接し、商業施設の集積地である。

まちづくり

住民同士のつながりを強めていくための協議会や町内会の取組が望まれている。

環境問題

「ごみステーション」や「犬猫の糞害」などについて気になっている住民が多い。

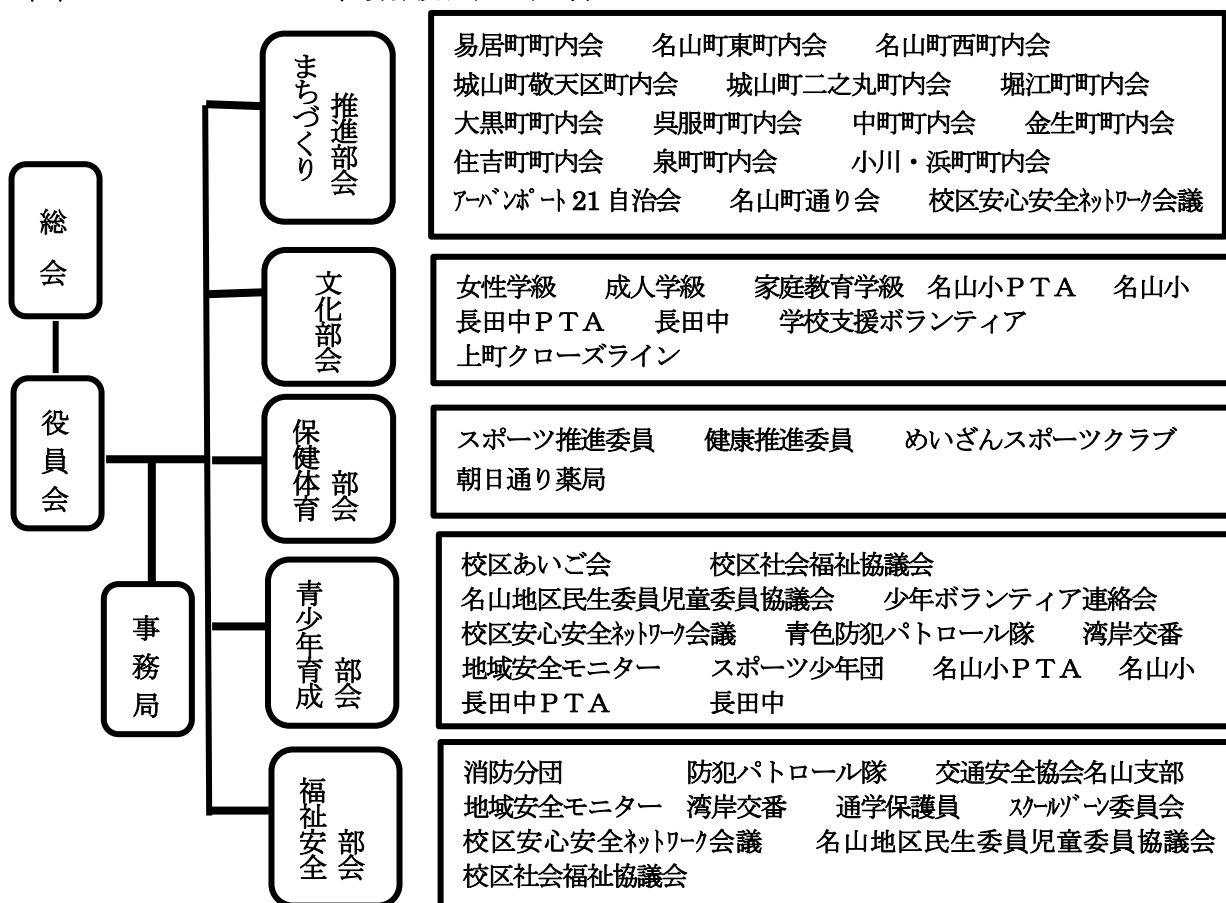
観光

JRや市電、バスなどの交通拠点、歴史スポットやドルフィンポートなどの観光拠点が校区内にあり観光客の増加が予想される。

歴史を継ぎ、街なかに残る「つながり」を守り育てる名山

3 第I期コミュニティプラン～2019年度～2023年度（5年間）～

(1) コミュニティ協議会の組織



(2) コミュニティ協議会の運営方針

- ア 「名山は一つ」という合言葉のもと、住民みんなが協力・参加する地域主体のまちづくりを進める。
- イ 次代を担う子どもたちや青年層、また高齢者などさまざまな年代との意見交換を行うなど広く住民の願い（夢や希望）を大切にした活動や運営に努める。
- ウ 地域主体のまちづくりを図るため、協議会活動について広報紙の発行など情報発信に努める。
- エ 校区公民館を住民や構成団体がふれあい交流する場、人づくりの場として活用し、新たな参加者の掘り起こしなどを通して、住民同士の「つながり」をさらに強める。
- オ 地域課題の解決や地域資源の活用に取り組むために、住民の声を反映して校区のまちづくりの指針となる地域コミュニティプラン(地域振興計画)を作成する。
- カ 鹿児島市をはじめ関係行政機関等との連携を図ってまちづくりを進めるとともに、地域課題について情報共有を図る。

(3) 校区の現状と課題（部会別） [○生かしたい現状 ☆取り組みたい課題]

まちづくり推進部会

- 町内会を中心に様々な伝統的行事に取り組んでいる。
- 各町内会の組織がしっかりとしているので、会員への情報伝達ができる。
- 地域や校区の行事への長年の協力者が多い。
- 交通の便が良く、暮らしやすい環境にある。
- ☆ 一人暮らし高齢世帯、高齢者夫婦世帯など、高齢者のみの世帯が増加している。
- ☆ 町内会への未加入世帯の増加や少子高齢化が進み、住民同士のふれあいが希薄になってきている。町内会等と連携して、住民のふれあいを推進する取組を進める必要がある。
- ☆ 新規参入の住民が参画しやすい取組や雰囲気が必要である。
- ☆ 校区活動や地域行事運営に若い人の参加が少なく、役員が固定化してきている。
- ☆ 若い世代のリーダー（後継者）の育成を図る必要がある。
- ☆ 「ごみステーション」や「犬猫の糞害」などについて気になっている住民が多い。

文化部会

- 文化祭を開催して学習者の発表の場とした。学習意欲を高める場としたい。
- 地域の史跡等に触れる機会が多く、興味を持つ人も多い。
- 人材や、施設、史跡など、社会教育としての資源が豊富にある。
- ☆ 成人学級や女性学級、家庭教育学級、父親セミナーを開設しているが、認知度は低い。内容や運営の工夫を図り、参加者を増やしたい。
- ☆ 地域の資源を生かした学習の機会が少ない。
- ☆ 豊かな人生のための学習意欲を高める取組が欲しい。

保健体育部会

- 校区運動会や球技大会などの継続して取り組んでいる。
- 校区運動会は、参加率も高く、球技大会やグラウンドゴルフ大会も好評である。
- ☆ 住民の親睦を深めることを目的に体育的行事が開催されているが、参加率を高めるとともに、幅広い世代や体力に応じた内容にしていく工夫が必要である。
- ☆ 各種大会等への参加者が限られた人になってきている。
- ☆ 住民の体力と健康の維持増進に関する意識を高める取組が必要である。
- ☆ 運動実施率を上げる取組が必要である。

青少年育成部会

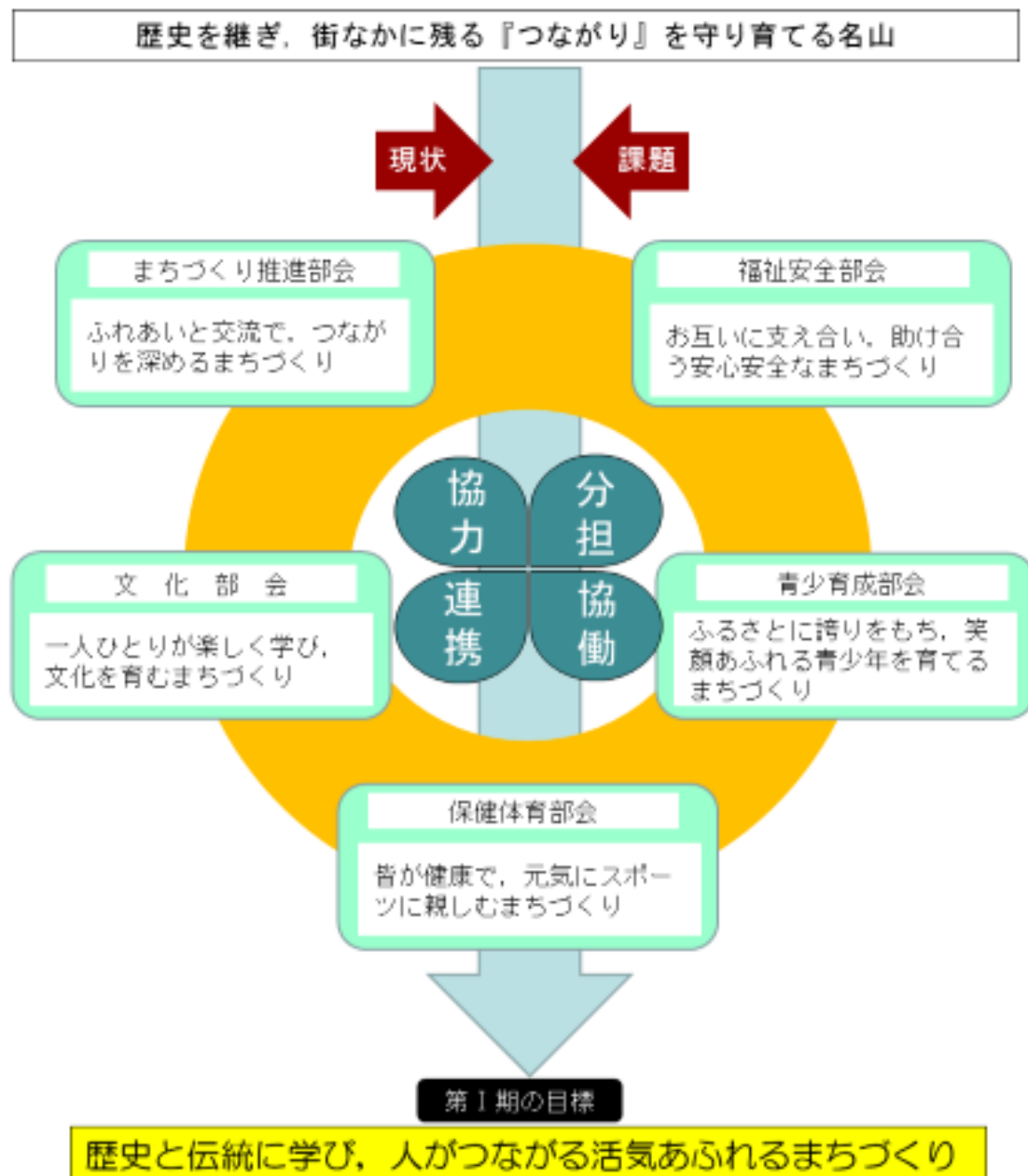
- 学校を中心としたあいさつ・声かけ運動がよくなされている。
- あいご会活動等の充実を目指し、城山登山や立志のつどいなどを実施している。
- ☆ あいご会活動を協議会との協働事業として、円滑な活動にする仕組づくりが望まれる。

福祉安全部会

- 防犯パトロール等、見守り活動が円滑に実施され、治安は良いという意見が多い。
- 中心市街地であり、交通量が多い。通勤や買物による人の交流が多い。
- ☆ 自然災害等の発生に伴う防災・減災に向けた独自の取組が少ない。
- ☆ 高齢者や子育て世代が集って語れるような場を設定するなどの福祉活動を増やしたい。
- ☆ 避難マップの作成や啓発活動等を推進し、防災運動の強化を図る。
- ☆ 高齢者や子どもを地域ぐるみで見守る活動の充実が望まれている。

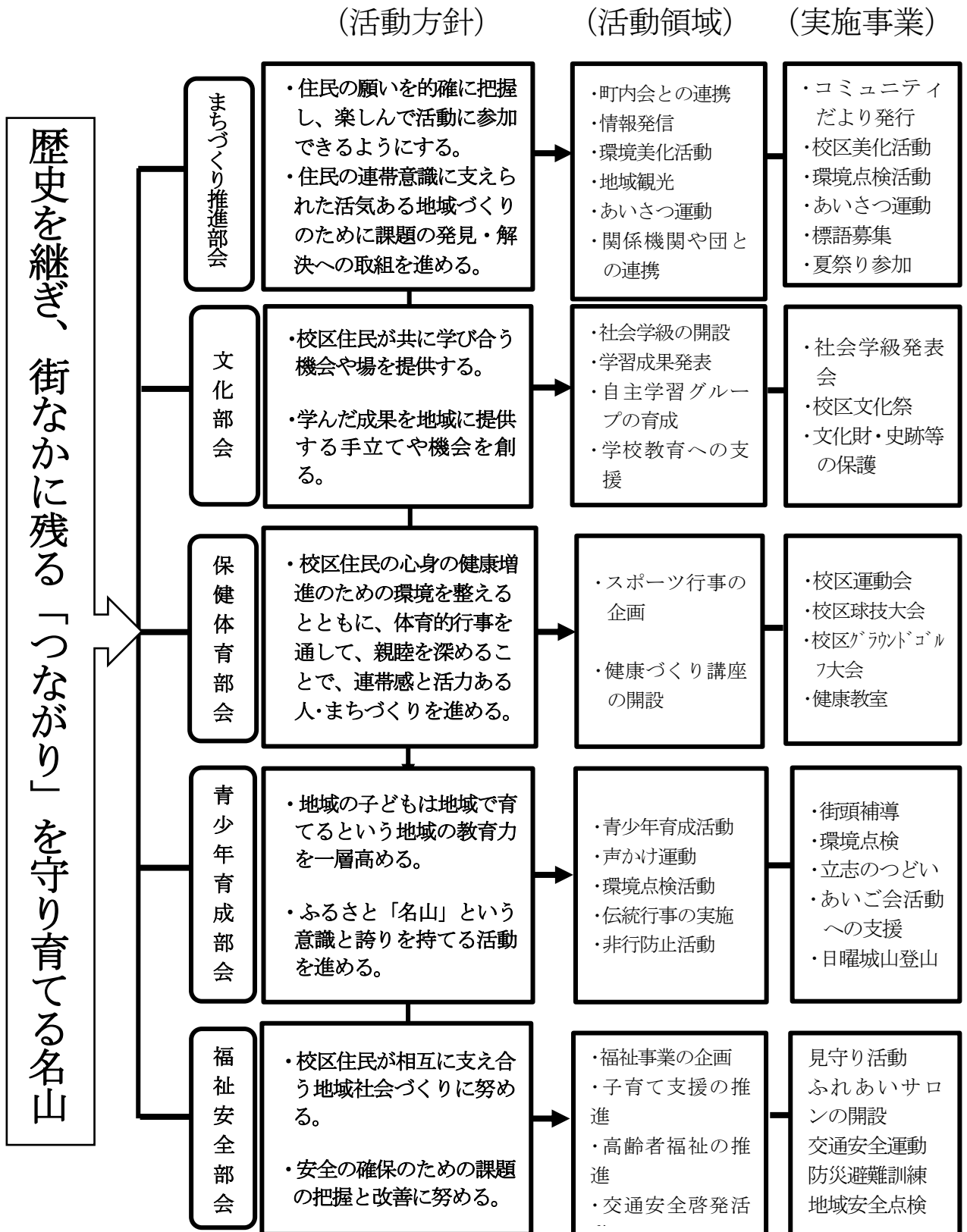
(4) 第I期目標

まちづくりの目標（将来像）と校区の現状と課題を踏まえ、各部会の基本方針と第I期の目標を設定しました。



プランは、住民一人ひとりが地域の課題解決を目指して「気付き、考え、行動する」ための実践計画です。
「計画(P)→実践(D)→評価(C)→改善(A)」の繰り返しで、住民の皆さんの声を反映させながら、より良いプランの策定を行っていきます。

(5) 事業推進の体系図



(6) 各部会別事業内容

No. 1

ア まちづくり推進部会

番号	事業名	事業内容	事業効果	実施時期	事業スケジュール					新規継続	備考 (関連部会等)
					19	20	21	22	23		
1	広報紙発行	コミュニティ協議会の活動結果や計画及び運営等について住民へ周知する。	住民みんなが協議会の運営や活動等についての理解が深まり、積極的な参加が増える。	年4回	○	○	○	○	○	継続	各部会連携
2	校区美化活動	「クリーンシティかごしま」の日に合わせて、校区内の環境美化活動を行う。	美化活動を通して町内会活動の活性化が図られるとともに、美しい環境づくりが推進される。	8月	○	○	○	○	○	継続	町内会との連携
3	あいさつ運動	「あいさつ先手運動」を展開し、あいさつがあふれる地域づくりを進める。	住民同士のあいさつで、地域とともに支え合うという「結い」の意識を高めることができる。	毎学期始め	○	○	○	○	○	継続	PTA・通学保護員との連携
4	生き生きまちづくり作戦	あいさつ等の標語を募集したり、夏祭りに色々な形で参加したりして、住民のアイデア溢れる取組を進める。	住民の心と心のふれあいを深め、明るい笑顔があふれるまちづくりに寄与する。	8月	○	○	○	○	○	新規	入賞作品掲示 文化祭で表彰 名山町通り会との連携



イ 文化部会

No. 2

番号	事業名	事業内容	事業効果	実施時期	事業スケジュール					新規継続	備考
					19	20	21	22	23		
1	成人学級の開講	住民が校区公民館に集い、教養の向上を図り、成果を家庭やまちづくりに役立てる。	今日的な課題について学び合うことで、まちづくりや家庭生活に役立つ力が向上し、活気ある地域づくりに貢献できる。	年10回	○	○	○	○	○	継続	
2	女性学級の開講	住民が校区公民館に集い、教養の向上を図り、成果を家庭やまちづくりに役立てる。	今日的な課題について学び合うことで、まちづくりや家庭生活に役立つ力が向上し、活気ある地域づくりに貢献できる。	年10回	○	○	○	○	○	継続	
3	家庭教育学級への支援	小・中学生を持つ保護者が、子育てや社会生活の仕方等について学び、家庭生活やまちづくりに役立てる。	保護者が子育ての悩み等について話し合ったり、生活全般のことについて学んだりすることで、子育てへの不安を減らすことができる。	年8回	○	○	○	○	○	継続	PTAとの連携
4	校区文化祭	社会学級や自主学習グループ、学校等の学習活動の成果を発表する。	学習成果等を発表したり、参観したりすることで、校区の文化の向上と豊かな心が育つふるさとづくりに寄与できる。	11月	○	○	○	○	○	継続	PTAとの連携
5	名山を学ぶ会	歴史と文化等について学ぶ会を開催し、未来のふるさとづくりについて語り合う。(講演会・まち歩き)	ふるさと名山のすばらしさを知ることによって地域への愛着を醸成すると共に貴重な文化財等の保存・継承につながる。	8月	△	まち歩き	講演	まち歩き	講演	新規	



ウ 保健体育部会

No. 3

番号	事業名	事業内容	事業効果	実施時期	事業スケジュール					新規継続	備考
					19	20	21	22	23		
1	校区運動会	恒例の校区住民総参加の伝統的な行事である運動会を開催し、住民の交流や連帯意識が深まる機会とする。	運動会の開催で、住民のふれあいの機会が増し、絆の深まりや心の結集が図られ、地域の一体感と活性化が促進される。	10月	○	○	○	○	○	継続	部会や構成団体による実行委員会
2	校区球技大会	ソフトボール及びソフトバレーボールの試合を実施する。	参加者の親睦を図るとともに、地域の活性化を図ることができる。	11月	○	○	○	○	○	継続	スポーツ推進委員との連携
3	ふれあいグラウンドゴルフ大会	子どもと大人がグラウンドゴルフのゲームを通して、世代間交流を図る。	子どもと大人がグラウンドゴルフを楽しむとともに、世代を超えた交流を楽しみ、まちづくりの活性化が図られる。	2月	○	○	○	○	○	継続	あいご会との連携
4	いきいき健康教室	ニュースポーツや健康講座を開き、住民の健康への意識向上を図る。	住民の健康への知識や関心が増し、体力・健康増進が図られる。	年2回	○	○	○	○	○	新規	めいざんスポーツクラブとの連携



エ 青少年育成部会

No.4

番号	事業名	事業内容	事業効果	実施時期	事業スケジュール					新規継続	備考
					19	20	21	22	23		
1	立志のつどい	中学2年生の立志を地域全体で祝福するとともに、生徒たちの、行動に伴う責任のあり方等を考え実行する機会にする。	地域住民が子どもたちの健やかな成長を願っていることを意識させ、地域に対する愛着を育むことができる。	2月	○	○	○	○	○	継続	
2	中学生と語る会	名山の将来を担う中学生との対話や交流を行い、まちづくりへの関心を高める。	まちづくりへの夢や希望等について語り合い、地域づくりへの参画意識を高めることができる。	8月	○	○	○	○	○	新規	
3	あいご会活動への支援	あいご行事やおぎおんさあ、セゴドンのエンコへの参加などの支援を行う。	あいご会活動を充実させることによって、地域ぐるみでの青少年育成に役立てる。	通年	○	○	○	○	○	継続	
4	日曜城山登山	体力づくりや異年齢交流を目的として城山登山を行い、心身の健全育成を推進する。	心身の健康づくりに役立てるとともに、参加者の交流を通じたまちづくりに生かす。	毎月1回	○	○	○	○	○	継続	まちづくり部会との連携
5	環境点検	校区内の青少年健全育成に係る点検活動を実施する。	点検を実施することで、青少年の健全育成に対する意識を高めるきっかけとなる。また、点検結果の共有による各団体間の連携が図られる。	7月	○	○	○	○	○	継続	まちづくり部会との連携



オ 福祉安全部会

No.5

番号	事業名	事業内容	事業効果	実施時期	事業スケジュール					新規継続	備考
					19	20	21	22	23		
1	ふれあい 研修旅行	校区内の高齢者を中心として、郊外に出て見聞を広めたり、交流したりする。	視察や観光をして、見聞を広め、校区住民のつながりを深めたり、お互いを支え合う意識を育てたりすることができる。	11月または3月	○	○	○	○	○	継続	社会福祉協議会との連携
2	ふれあい サロン事業	町内会公民館等を活用し、高齢者等が気軽に集うことができるサロンを開設する。	サロンに集うことで、楽しく生きていく意識を高め、健康づくりに寄与することができる。	通年	○	○	○	○	○	新規	町内会・民生委員との連携
3	介護予防 活動	高齢者や現在または将来的に介護に携わる方々を対象に、介護予防体操などの講座を開き普及を図る。	高齢者の健康維持増進と見守り活動につながる。また、福祉活動に対する意識高揚に役立つ。	通年	○	○	○	○	○	新規	・健康推進委員 やスポーツクラブ との連携 ・サロンと連携
4	地域安全点検	校区内の危険箇所や暗がり箇所等の点検を行い、安心安全なまちづくりを推進する。	点検結果をもとに対策を講じることで、明るく住み良いまちづくりにつながる。	8月	○	○	○	○	○	継続	町内会・地域PTAとの連携
5	防災研修 事業	防災のあり方について学んだり実際に訓練したりする。	防災知識や意識を高める。 地域の防災ネットワークづくりとなる。	8月	講習	まち歩き	講習	防災訓練	福祉マップ	新規	・研修会 ・福祉マップ ・防災訓練 ・福祉安全だより



4 資料

(1) コミュニティプラン策定委員会委員

	氏名	役職		氏名	役職
1	米盛 孝一	コミュニティ協議会 会長	9	中村 清文	コミュニティ協議会 保健体育部会 副部会長
2	平山 哲	コミュニティ協議会 副会長	10	末満 裕孝	コミュニティ協議会 青少年育成部会 会長
3	中野 明博	コミュニティ協議会 副会長	11	松田 武泰	コミュニティ協議会 青少年育成部会 副部会長
4	堀之内 繁	コミュニティ協議会 まちづくり推進部 部会長	12	松崎 勉	コミュニティ協議会 福祉安全部会 部会長
5	久木田 光男	コミュニティ協議会 まちづくり推進部会 副部会長	13	原田 孝造	コミュニティ協議会 福祉安全部会 副部会長
6	笛 恵	コミュニティ協議会 文化部会 部会長	14	白石 浩子	コミュニティ協議会 書記・会計
7	坂元 聖子	コミュニティ協議会 文化部会 副部会長	15	西 和子	コミュニティ協議会 書記・会計
8	上野 洋一	コミュニティ協議会 保健体育部会 部会長			

(2) 会議の経過概要

期日	会議名	内容等
29. 4. 17 (月)	第1回役員会・プラン策定委員会	コミュニティプラン策定委員の選任、プラン概要
29. 5. 22 (月)	第2回役員会・プラン策定委員会	アンケート調査について、内容検討
29. 6. 12 (月)	第3回役員会・プラン策定委員会	アンケートの配布及び回収の仕方
29. 7. 14 (金)	第4回役員会・プラン策定委員会	アンケート内容の検討及び決定
29. 7. 24 (月)	第5回役員会・プラン策定委員会	アンケート作成 (印刷・製本)
29. 10. 12 (木)	第6回役員会・プラン策定委員会	アンケート配布、回収
29. 11. 30 (木)	第7回役員会・プラン策定委員会	アンケート回収、集約
30. 1. 29 (月)	第8回役員会・プラン策定委員会	アンケート分析・まとめ
30. 2. 26 (月)	第9回役員会・プラン策定委員会	アンケート分析・まとめ
30. 3. 26 (月)	第10回役員会・プラン策定委員会	アンケート結果の広報
30. 4. 23 (月)	第1回役員会・プラン策定委員会	今年度のスケジュール
30. 6. 25 (月)	第2回役員会・プラン策定委員会	冊子の全体像
30. 7. 23 (月)	第3回役員会・プラン策定委員会	各部会の進捗状況確認
30. 9. 20 (木)	第4回役員会・プラン策定委員会	各事業案についての検討
30. 11. 19 (月)	第5回役員会・プラン策定委員会	冊子内容全般についての見直し
30. 12. 19 (水)	第6回役員会・プラン策定委員会	冊子及び概要版等の検討
31. 1. 28 (月)	第7回役員会・プラン策定委員会	冊子最終案検討
31. 2. 25 (月)	第8回役員会・プラン策定委員会	冊子最終案検討
31. 3. 25 (月)	第9回役員会・プラン策定委員会	策定プランの住民説明会・配布方法

(3) 校区住民の意識調査結果

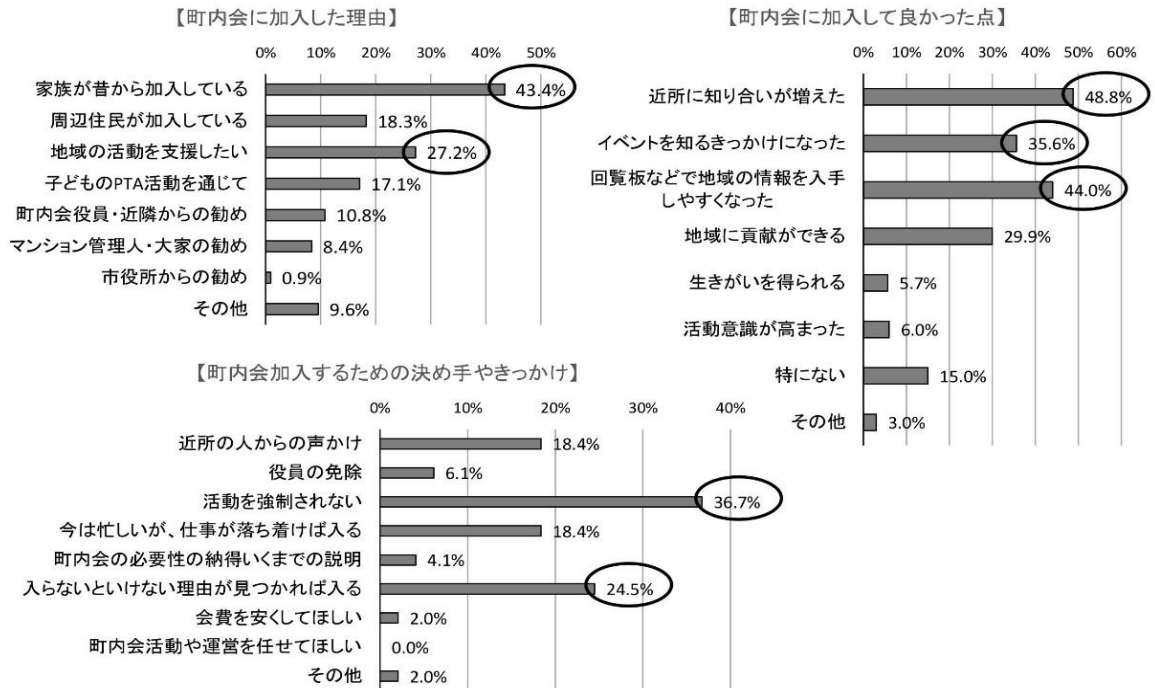
名山校区まちづくりに関するアンケート調査（概要）

※このアンケート調査は、名山校区にお住まいの方 383 名にご協力いただきました。

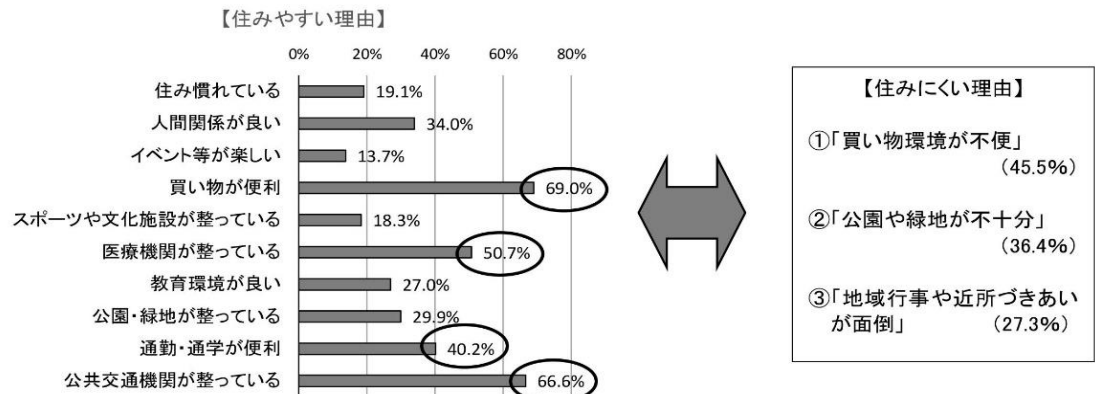
【回答者の属性】

性別	： 男性 (35.2%)、女性 (62.1%)
年齢	： 20代 (0.8%)、30代 (8.9%)、40代 (21.9%)、50代 (17.5%)、60代 (20.6%)、70代 (18.8%)、80代以上 (18.8%)。
居住地	： 小川 (19.8%)、城山 (20.6%)、長田 (4.2%)、名山 (16.4%)、泉 (8.9%)、中町・金生・呉服・山下 (4.7%)、易居 (8.4%)。
同居家族構成	： 3～5人 (38.9%)、2人 (37.1%)、1人 (16.4%)、6人以上 (1.0%)。
居住年数	： 20～50年未満 (29.5%)、10～20年未満 (29.6%)、50年以上 (14.9%)、5～10年未満 (13.1%)、5年未満 (10.7%)。

【町内会について】 「加入している」(87.2%)、「加入していない」(12.8%)。

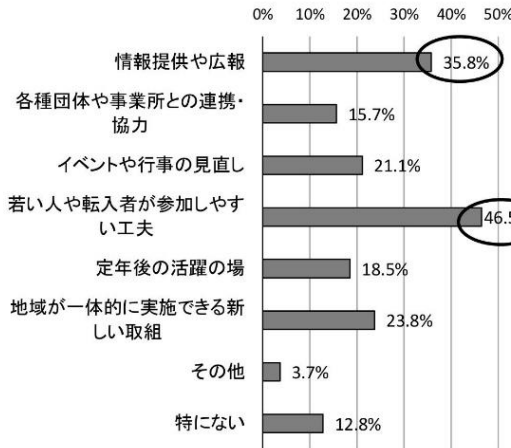


【名山校区の住みやすさについて】 「住みやすいと思う」(96.9%)、「住みやすいとは思わない」(2.9%)

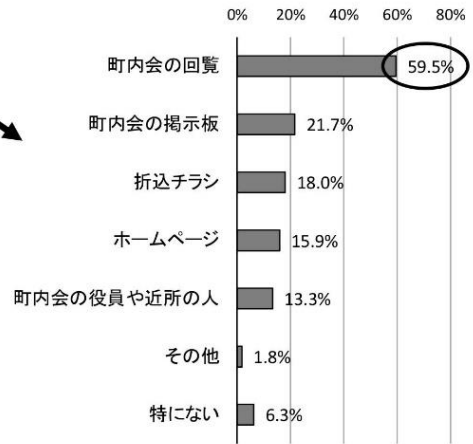


【校区や町内会の活性化に必要なこと】

【校区や町内会の活性化のために必要なこと】



【校区情報の有効な入手方法】



【校区の生活環境について】

クリーン作戦や町内一斉清掃への参加状況	→ 「いつも参加している」(15.4%) 「時々参加している」(32.4%) 「参加していない」(38.1%) 「知らない」(9.7%)
家庭ごみの分別の取組	→ 「しっかりできている」(50.1%) 「だいたいできている」(44.9%) 「できていない」(1.0%)
家庭ごみの減量の取組	→ 「しっかりできている」(17.2%) 「だいたいできている」(62.1%) 「できていない」(13.1%)

【生活環境面で気になること】

- ①ごみステーションの曜日や分別が不遵守(28.7%)
- ②「犬や猫などの糞害など」(28.2%)
- ③「自動車交通量の多さ・交通ルールの悪さ」(27.3%)

【社会教育について】

※校区の社会学級（成人・女性・家庭教育学級・

父親セミナー）への参加状況

→ 「現在参加している」(3.9%)

「参加したことがある」(28.5%)

「参加したことがない」(53.8%)

※趣味や学習サークルへの参加状況

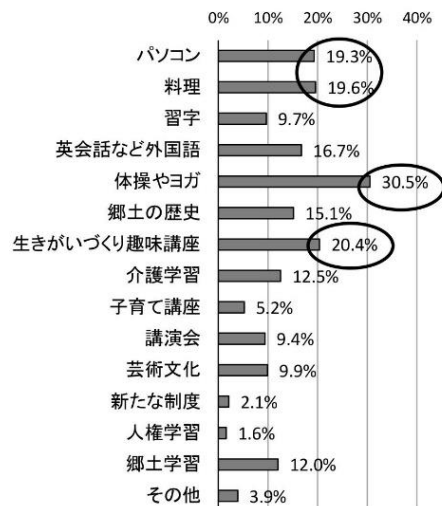
→ 「参加している」(12.3%)

「参加していない」(79.6%)

↓ 参加していない理由

- ①「仕事や家事で忙しい」(50.2%)
- ②「参加したいものがない」(13.1%)
- ③「興味がない」(12.5%)
- ④「情報が少ない」(9.5%)

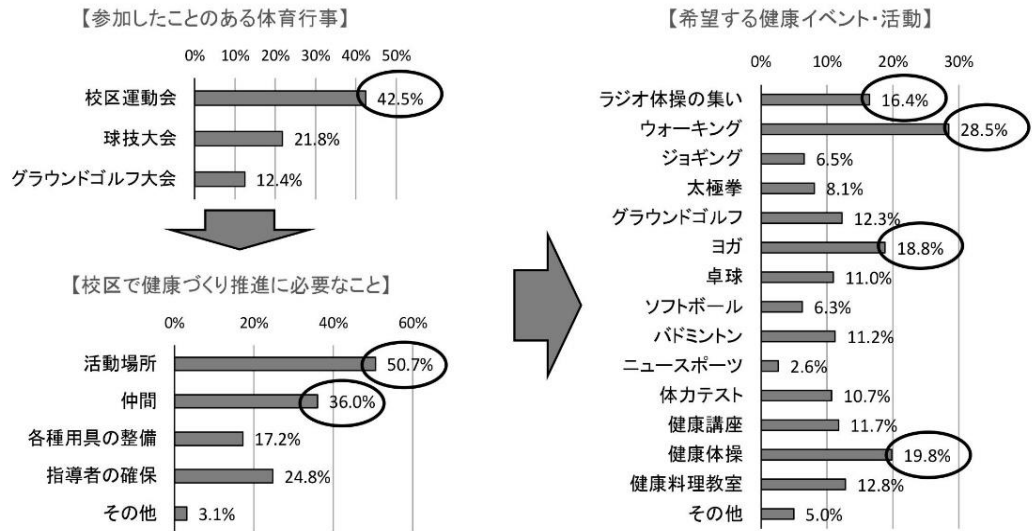
【どのような講座があるといいか】



今後の社会教育（生涯学習）の推進に対する意見は、「講座・イベント・情報提供の充実」(33.2%)、「施設の整備・充実」(20.9%)、「民間施設の充実」(19.8%)、「地域活動・ボランティア情報の充実」(15.1%)

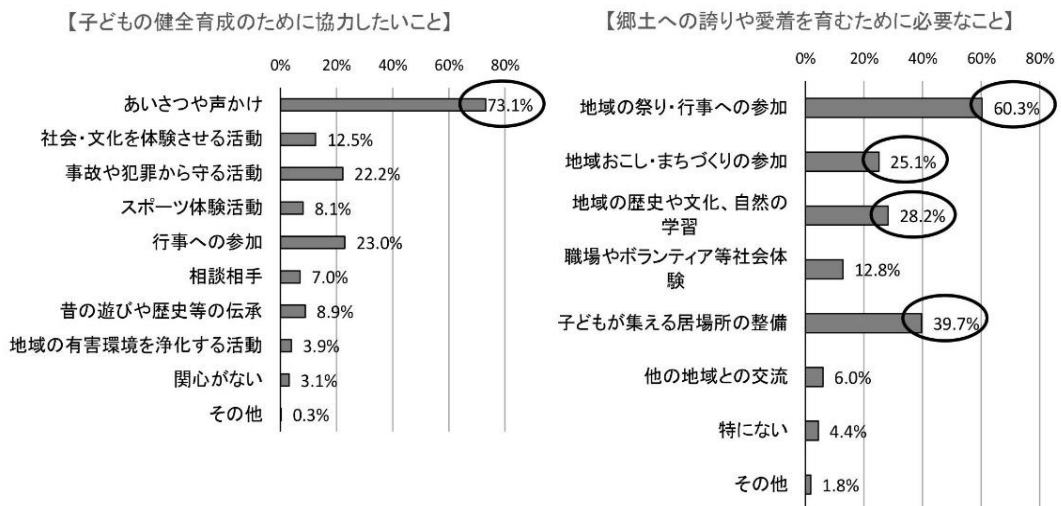
【保健・体育について】

- ・健康・体づくりの内容は、「ウォーキング」(61.9%)、「ラジオ体操」(22.4%)、「スポーツ系の同好会」(13.5%)、「その他」(12.1%)、「ジョギング」(9.0%)、「民間のスポーツジム」(8.1%)。
- ・体育行事に「よく参加する」12.3%、「時々参加する・以前参加したことがある」(38.1%)、「参加したことがない」44.4%。



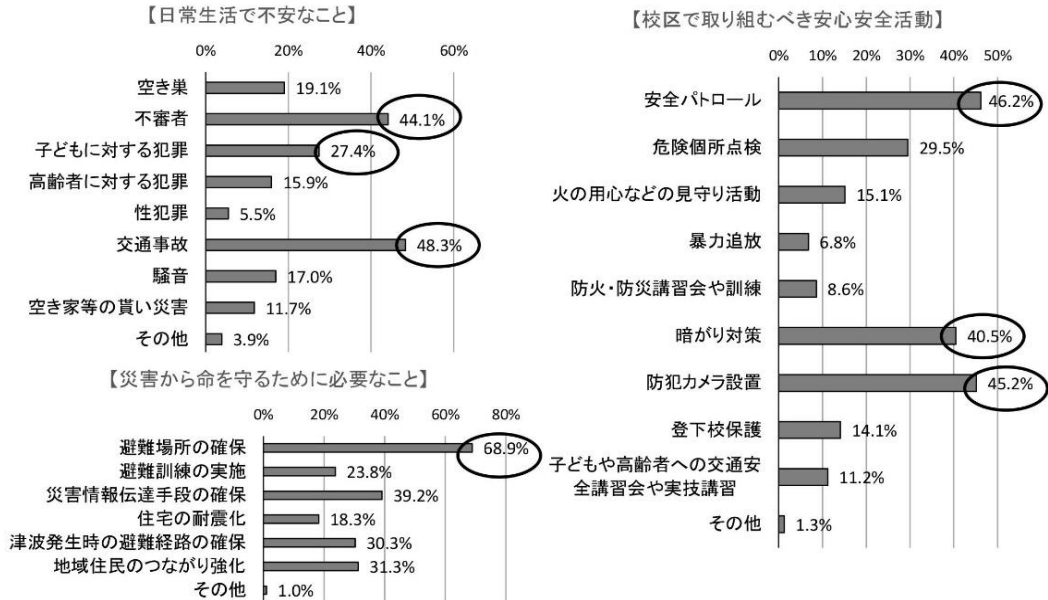
【青少年健全育成について】

校区の子どもたちへのかかわりの程度は、「よくあいさつや声をかけている」(31.3%)、「たまに挨拶をする程度」(29.2%)、「ほとんど触れあうことはない」(21.1%)など。



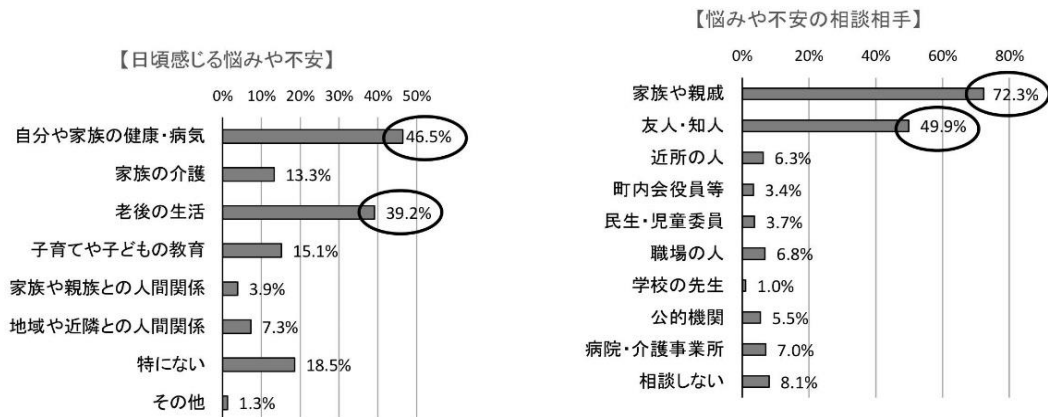
【地域の治安・防災について】

校区の治安は、「よい」(24.8%)、「どちらかといえばよい」(57.7%)、「分からない」(8.9%)、「どちらかといえば悪い」(2.1%)、「悪い」(0.3%)。



【地域福祉について】

日頃の近所づきあいの程度は、「たまに世間話や立ち話程度」(34.5%)、「顔を合わせた時にあいさつする程度」(28.2%)、「簡単な頼み事ならできる」(18.0%)、「困っているとき相談や助け合いができる」(14.9%)、「全く付き合いはない」(2.9%)。



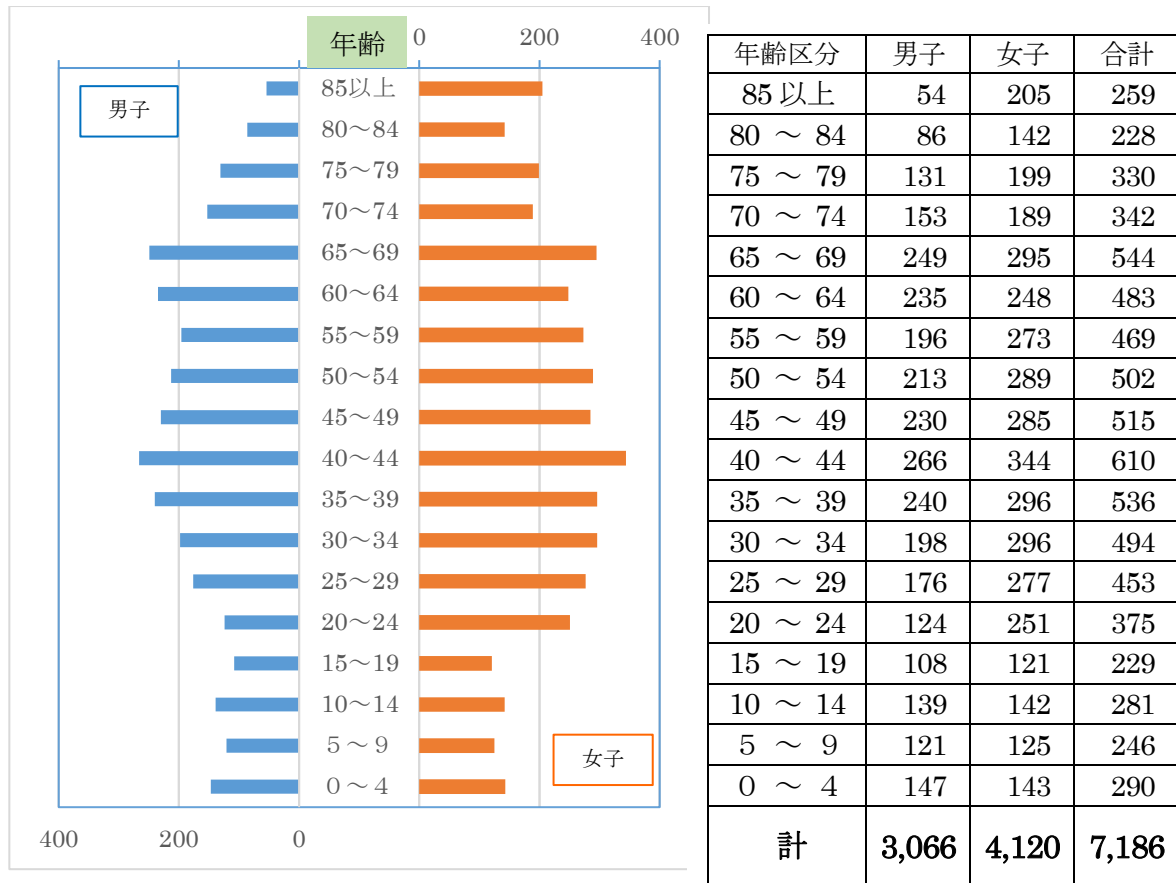
- 【子育ての悩み】**
- ①金銭的負担(55.1%)
 - ②子育ての方法やしつけ(39.8%)
 - ③仕事との両立(33.9%)
 - ④子ども同士の交流(27.1%)

- 【地域にほしいサービス(子育て世代)】**
- ①預かり保育
 - ②子供連れで気軽に集まり、悩み等語り合える事業

- 【地域にほしいサービス(高齢者)】**
- ①好きな時に集い、交流できる場
 - ②高齢者のふれあいの場
 - ③認知症予防等のための健康教室

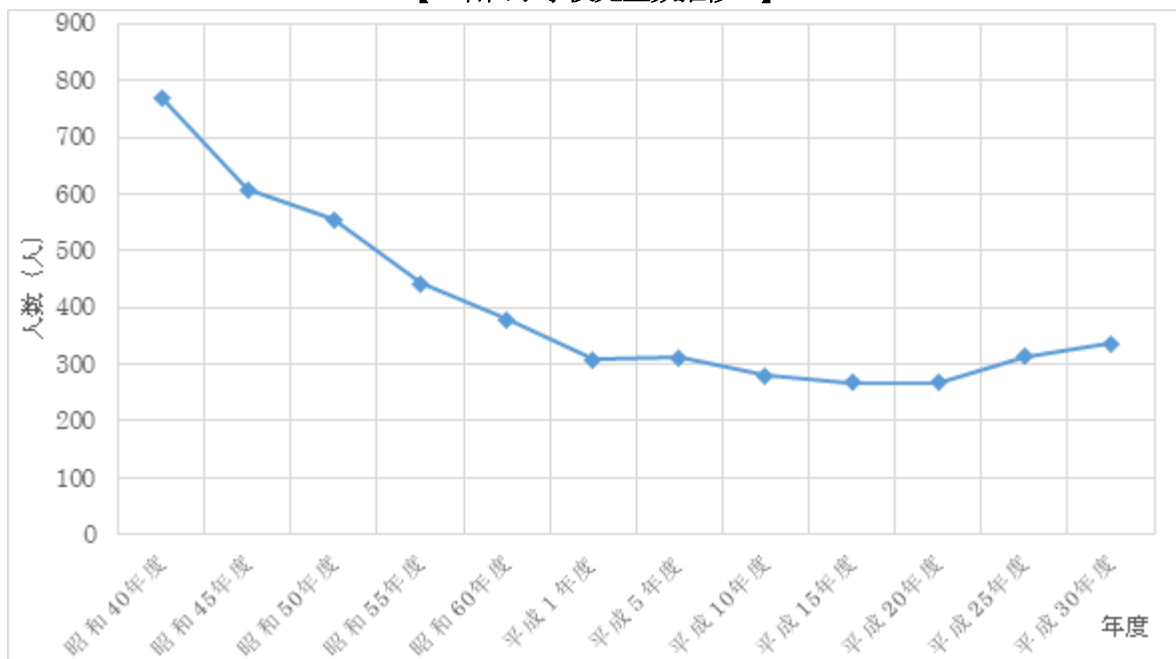
(4) 統計資料

【 名山小学校区 年齢別、男女別人口（平成27年国勢調査） 】



※ 年齢不詳を含まず

【 名山小学校児童数推移 】



名山校区コミュニティプラン
(校区振興計画)
【2019年度～2023年度版】

2019年3月発行
名山校区コミュニティ協議会